

大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻 産学官共創講座 フューチャー・デザイン領域 原研究室



研究テーマ

原研究室では、将来世代に持続可能な社会を引き継ぐための新たな社会の仕組みをデザインし実践する**フューチャー・デザイン**を研究対象としています。また、これらの仕組みや方法論を実際の政策立案や技術システムの設計等に適用し、自治体や政府、産業界などのステークホルダーとの共創を通じ、持続可能社会形成に関わる研究と実践を進めています。

特に、『将来世代』の概念を取り入れた**新たな社会工学の基盤構築**を目指すとともに、「**社会の仕組み**」「**人の意思決定や行動**」「**技術システム**」の**相互関係に着目し**、資源エネルギー問題、カーボンニュートラル、まちづくり、防災、研究開発・技術イノベーション、教育などの多様な課題領域を対象に研究および課題解決のための実践を進めています。

本研究室では以下のように、①フューチャー・デザイン理論の深化と社会技術の開発、②フューチャー・デザインを導入した、産学官共創による実践と課題解決、の2つの柱を両輪として研究活動を進めます。

① フューチャー・デザイン(FD)理論の深化と社会技術の開発

現世代と将来世代の双方の利益を踏まえた持続可能な意思決定や合意形成を導くため社会の「仕組み」のデザインを行うとともに、将来シナリオ設計手法、合意形成手法などの社会技術手法の開発を進めていきます。

② FDの実践を通じた社会課題解決と新たなイノベーション創出

下記は例です。自治体・政府、産業界と連携して研究を推進しています。

a) 脱炭素社会実現に向けた社会移行プロセスのデザイン

再生可能エネルギーなどの導入シナリオを基軸として、将来世代の視点から2050年カーボンニュートラルの社会像を導出し、社会移行の望ましい経路をステークホルダーとの合意形成プロセスを通じてデザインします。

b) 持続可能なインフラの維持管理のモデル提案

災害や、人口減少等の進行性ストレスに柔軟に対応しうる、持続可能なインフラ維持管理モデルを検討します。将来世代視点でのインフラの評価手法の開発や行政応用のための制度設計を検討します。

c) 産業技術イノベーションのデザイン

産業界と連携し、フューチャー・デザインを導入して、技術開発戦略やイノベーション、ビジネスモデル等の新たな方向性を検討するとともに、長期的視点や持続性の観点からイノベーション創出を実現する手法を開拓します。

スタッフ

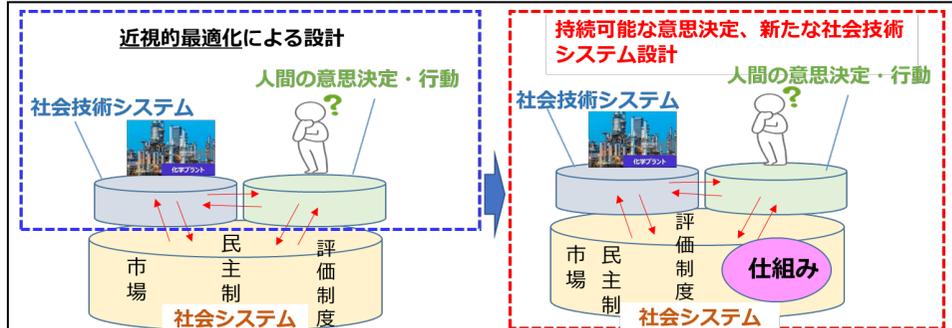
教授 原 圭史郎 hara@cfi.eng.osaka-u.ac.jp
 招聘准教授 淵上 ゆかり

Tel:06-6105-5996, Fax: 06-6105-6101

URL

<https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/hara/> (原研究室)

<https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/fd-research/> (FD研究拠点)



○従来のアプローチ：
 社会システムは**固定**。ヒトの意思決定 (近視性、「将来を割り引く」)は**所与**

○フューチャー・デザイン
 社会の「**仕組み**」をデザイン
 ⇒ ヒトの**意思決定が変容**、社会技術システム最適設計が**変化** (新イノベーションの可能性)

